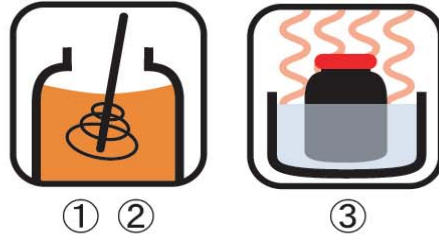




正しい乳剤の混合の仕方

【乳剤を攪拌します】

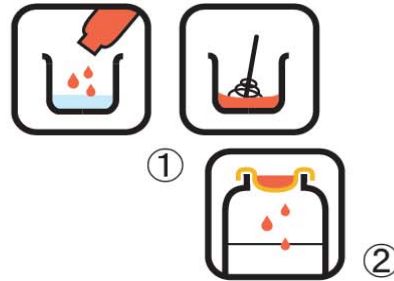
- ① 乳剤（900g）を用意します。
- ② 流動性を持たせるために攪拌します。
- ③ もし、温度が低すぎるようでしたら湯煎して20～25度にします。



【顔料を処方します】

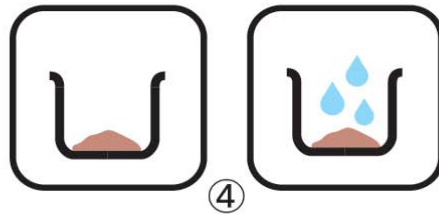
もし、着色が必要ならここで顔料を処方します

- ① ビーカーなどに純水20ccを入れ顔料を滴下し、よく攪拌します。
- ② その後、溶けた顔料水を300番以上のメッシュを用いて漉しながら乳剤に滴下しよく攪拌します。容器に残った顔料もわずかな純水を用い再度乳剤に滴下します。



【ジアゾを処方します】

- ④ ビーカーなどに所定のジアゾを入れ、純水80ccを注ぎます（重要：水温は20～25℃）。
- ⑤ 5分くらい、十分に攪拌して、全部溶けたかどうかを目視で確認します。



【ジアゾを乳剤に溶かします】

- ⑥ 250番以上のメッシュを用いて濾過しながら乳剤の中に滴下します。容器に残ったジアゾも、わずかな純水を用い、再度乳剤に滴下します。
- ⑦ ガラス棒で10分程よく攪拌し、完全に溶かします。



【乳剤を濾過します】

- ⑧ 最後に300番以上のメッシュを用いて、乳剤を濾過します。脱泡も兼ねるので時間を掛けて行います。



* 以上僅提供参考。